# 株主優待のご案内

毎年、3月31日現在で、100株以上の株主様に対し、

株主優待券(3割引券・5割引券)を年1回発行しております。

## 割引内容

下記レストランにて優待券1枚で5名様までのご飲食料金1回分を割引いたします。 またはホテルトラスティ(一般ホテル)にて優待券1枚で1泊5ルームまでご宿泊料金を割引 致します。

## 割引対象施設

関東地区 イタリア料理レストラン オッツィオ(東京ベイコート倶楽部ホテル&スパリゾート内)、 エクセレントクラブ新宿、ホテルトラスティ東京ベイサイド

中部地区 ローズルーム名古屋、ホテルトラスティ名古屋栄、ホテルトラスティ名古屋

関西地区 ローズルーム大阪、エクセレントクラブ神戸(サンメンバーズ神戸内)、 ブルーノ・デル・ヴィーノ(ホテルトラスティ心斎橋内)、ホテルトラスティ心斎橋

※上記のほか、当社運営の下記リゾートホテル内レストランにてご利用頂けますが会員の利用状況によりご利用を承れない場合も ございます。事前にご確認下さい。

- ●エクシブ(15施設)/ 那須白河・山中湖・軽井沢・蓼科・初島クラブ・伊豆・浜名湖・鳥羽&アネックス・ 琵琶湖・京都八瀬離宮・白浜&アネックス・淡路島・鳴門
- ●サンメンバーズ(7施設)/熱海・箱根・久美浜・別府・ひるがの・京都嵯峨・神戸
- ●東京ベイコート倶楽部メンバーの方は、メンバー専用レストラン「24 MEMBERS'DINING」でもご利用頂けます。

#### 優待割引券発行基準

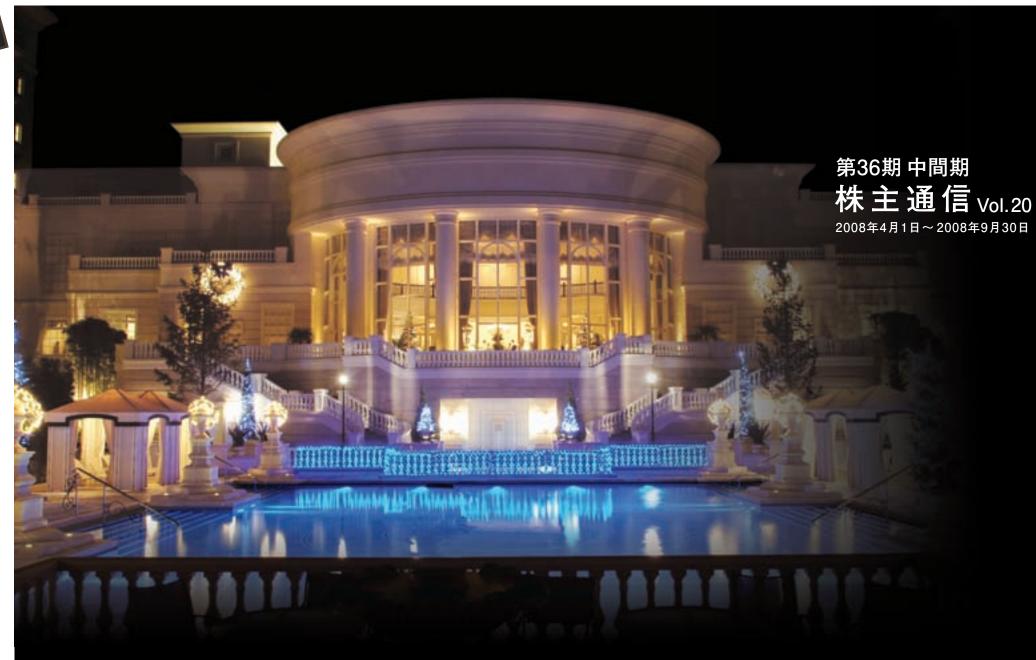
| 所有株式数 | 100株以上500株未満      | 1枚  | (3割引券) |
|-------|-------------------|-----|--------|
|       | 500株以上1,000株未満    | 1枚  | (5割引券) |
|       | 1,000株以上2,000株未満  | 2枚  | (5割引券) |
|       | 2,000株以上3,000株未満  | 3枚  | (5割引券) |
|       | 3,000株以上5,000株未満  | 4枚  | (5割引券) |
|       | 5,000株以上10,000株未満 | 5枚  | (5割引券) |
|       | 10,000株以上         | 10枚 | (5割引券) |
|       |                   |     |        |

#### その他

- 1. 有効期限は翌年6月30日までです。
- 2. 定時株主総会終了後に発送しております。(株式関係書類に同封)

※当社株式の売買単元は100株です。





グランドエクシブ浜名湖





COO 伊藤 勝康

# ごあいさつ

株主の皆さまにはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社グループへの日頃か らのご支援に心より厚く御礼申し上げます。

当社グループは本年度から、新中期5ヶ年グループ経営計画「エクセレント・ホスピタリテ ィ計画 | のもと、従来のリゾートビジネスの殻を破り、お客様に最上のホスピタリティを提供 するグループへと成長すべく、新たなスタートを切りました。既存事業の徹底的な強化によっ て安定的な収益基盤をさらに盤石なものとするとともに、新たな成長ステージへの活力とな る新規事業の開拓を通じ、持続的な成長が可能な組織・風土を実現したいと考えております。

当中間期(第2四半期連結累計期間(2008年4月~9月))におきましては予想を超えた事業 環境の変化によって苦戦を強いられておりますが、当社グループの目指すものはこうした外部 要因によって容易に変わるものではありません。あらゆるシーンでお客様に夢と感動、美とや すらぎを提供するグループへと成長することで、株主・投資家の皆さまの期待にお応えできる よう、全社一丸となってさらなる事業基盤の強化に邁進してまいります。

今後とも引き続き皆さまのご支援ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

## 2008年11月

代表取締役会長 CEO(最高経営責任者) 伊藤 與朗 代表取締役社長 COO(最高執行責任者) 伊藤 勝康



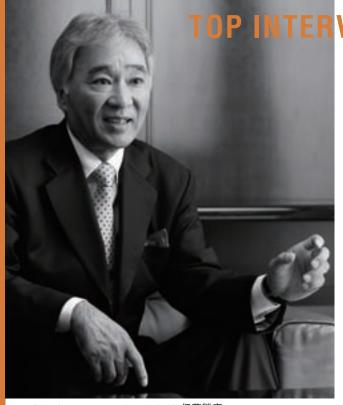
# 事業環境の急変で思わぬ苦戦

—— 当中間期の事業環境と経営成績についてご解説ください。 当中間期は、昨年顕在化した米国サブプライムローン(信用 力の低い個人向け住宅融資)問題に端を発する国内株式相場の 下落や、個人消費の低迷などの影響が顕著に現れました。当社 グループは富裕層のお客様をメインターゲットに据えた事業を 展開しておりますので、こうした方々の金融資産が、株式相場 の低迷によって大きなダメージを受けていることは否定できま せん。これに加えて、各種原材料費が引き続き高止まりしてい たことも、各事業の利益率などを押し下げる要因となりました。 こうした環境の中、当中間期の連結業績は遺憾ながら、減収減 益を余儀なくされました。各事業とも環境が悪い中で期初計画を達 成するよう懸命に努力いたしましたが、予想を遙かに超えた景況の

#### ――各事業の経営成績についてお聞かせください。

会員権事業につきましては、3月末に開業した「東京ベイコー ト倶楽部 ホテル&スパリゾート などの会員権販売に引き続き 注力したほか、来春オープン予定の「エクシブ山中湖サンクチ ュアリ・ヴィラ | の会員募集を開始いたしました。しかしながら 景況不安に伴う個人消費の冷え込みのため、会員権の販売は計 画通りには進まず、当事業の中間期実績は前年同期に比べて減 収減益となりました。とはいえ、今回の減収は、景況の変化に

悪化によって、皆様のご期待を裏切る結果となってしまいました。



代表取締役社長COO(最高執行責任者) 伊藤勝康

伴う一時的な現象と捉えております。会員数は比較的順調に増 加していますし、余暇に対するニーズは中長期的には拡大して いくと考えられます。

ホテルレストラン等事業でもやはり、景気低迷やガソリン高 などの影響で利用者数が減少したことに加え、原材料費や光熱 費の高騰が利益を圧迫しました。

ゴルフ事業、メディカル事業については会員権販売や年会費 収入は順調に増加して前年同期を上回る利益を確保することが できました。

誠に遺憾ながら期初の計画を達成することはかないませんで したが、決して悲観するような状況ではないと思っています。私 としてはむしろ、これだけ経済環境が悪化した中で、一定水準 以上の成果を残すことができたのではないかと捉えております。 営業キャッシュフローは前年同期を大きく上回るなど財務基盤は 引き続き安定しておりますし、会員数も順調に増加し、9月末時 点で132.830人になりました。

# 売上高(百万円) 経常利益(百万円) 一株当たり配当金(円)/配当性向(%) ■通期 ■第2四半期累計期間/中間期 ■通期 ■第2四半期累計期間/中間期 ■一株当たり配当金 ■配当性向 一株当たり中間配当金



### 既存施設の収益力向上に注力

会員数の推移(万人)

#### ―― 下期の事業計画についてお聞かせください。

下期はさらに厳しい環境にさらされるものと覚悟しておりま す。このところ米国金融機関の経営破綻や身売りが相次ぎ、 世界の株式市場も大打撃を受けています。この状況が改善し、 需要が回復局面に向かうには、相応の時間を要するとみてお ります。

このため、当初は今期中に着工を予定したパラオでのゴル フ場併設型リゾートホテル事業などについて、当面着工を見 合わせる決定をいたしました。新規開業にはどうしても多額の 資金を投じる必要が生じます。開業を急ぐ必要のない物件に ついては投資を凍結し、経費とリスクの発生を最低限に抑え るべきだと判断いたしました。下期の会員制ホテルの新規オー プンは「エクシブ山中湖サンクチュアリ・ヴィラ | 一件にとど まる予定です。

# とを目指すような経営環境ではありません。過去数年間、当社 はおかげさまで急速な成長を果たすことができましたが、少な くとも今後1、2年は体力を温存すべき時機であると判断して

— 厳しい事業環境に、どのように対応されますか。

います。新規開業を急ぐ必要のないプロジェクトについては実 行を延期し、既存施設の収益向上に力を注いでまいります。

残念ながらこれまでのように、契約高を大幅に上積みするこ

新規開業を抑制するといっても、将来の成長機会が失われ るわけではありません。当社はすでに、5年先から10年先まで の開発用地を確保しております。ほとんどの開発案件に関して は特段着工を急ぐ必要性はありませんから、事業環境が好転 するのを待ちたいと考えています。すでに用地取得は完了して いるわけですから、環境が好転した際は速やかに事業に着手 することができますのでご安心ください。

# 新5ヶ年計画の方向性は今後も堅持

— 新5ヶ年計画の進捗状況についてお聞かせください。

東京ベイコート倶楽部

当社グループは4月から、新 中期5ヶ年グループ経営計画「エ クセレント・ホスピタリティ計 画|(以下新5ヶ年計画)に着手 しております。当社グループが 「総合リゾート企業」から脱皮 し、最上のホスピタリティを提 供する「エクセレント・ホスピ タリティ・グループ | へと変貌 することを目指すというもので す。計画開始直後から思わぬ外 部環境の変化に直面することと

# TOP INTERVIEW トップインタビュー

なってしまいましたが、新5ヶ年計画の目指すものは決して変 わりません。「既存事業の強化」「新規事業の成長」「顧客ター ゲットの拡大」という3つの基本戦略は、景況の変化に関わら ず当社グループの成長にとって不可欠なものです。

その中でも、現在のような厳しい事業環境の中で最も注力す べきなのが、既存事業の強化であると捉えております。当社グ ループにとって最大の財産は、13万人を超える会員の皆様で す。この貴重な財産を最大限に活用させていただくことが、当 社グループの収益構造を安定させることにつながり、景気回復 局面で再び攻勢に転じるための体力を養うことにもなるので す。そのためには既存施設への会員獲得に全力を挙げるほか、 既存会員の皆様の施設利用をさらに増やしていただける取り組 みが必要です。さらなるサービスの向上や会員の方々への積極 的なアプローチを通じて、会員様に何度も足を運んでいただけ るよう、これまで以上に注力してまいります。

また、ゴルフ事業では、当社グループ内外のゴルフ場からの レストラン運営受託が順調に増加しております。当中間期中に4 カ所のゴルフ場での運営受託がスタートしたほか、10月にも1カ 所で開始しております。当社のレストラン運営ノウハウが同業他 社から高く評価されていることの何よりの証だと誇りに思ってお ります。こうした事例が増えることは、当社の収益源を多様化し てくれますし、スケールメリットを発揮することにもつながります。

ホテルレストラン等事業では、海外でのレストラン展開を見 据えた準備を着々と進めております。7月にホテルレストラン開 発事業本部内に「海外事業戦略部」を新設し、アジアのリゾート 地などでのホテル事業やレストラン事業の可能性を模索してい るところです。

一方、当初予定していた新規設備投資による拡充は激変す る環境変化を見極めながらの柔軟な対応が必要でしょう。先 ほども申しましたように、新規の大型投資は極力抑制し、すで



に保有している施設の運用収益をさらに改善していくことに 経営の軸足を置くべき時機であると考えております。

## 株主の皆様へ

#### 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループはリゾート企業として35年の歴史を誇ってお ります。過去にも不動産バブルの崩壊など厳しい局面が幾度 となくありましたが、それらを乗り越え、着実に会員を獲得し てきた実績がございます。強固な財務体質と事業基盤、そし て何より13万人の顧客基盤を抱えている限り、多少の景況悪 化に動揺することはございません。

どのような市場においても、需要に波があることは避けられ ません。企業として大切なのは、その需要の波に、供給の波を 柔軟に合わせていくことであり、需要後退期には勇気を持っ て足固めをすることではないでしょうか。不況がいかに長引い ても、余暇を豊かに楽しみたいというニーズがなくなるわけで はありませんし、いつかは必ず、環境は好転します。今は静か に、その機会を待つべき時機であると考え、無理をして背丈 を伸ばすことより、贅肉をそぎ落とし、体幹を鍛え上げること に全力で邁進してまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後も引き続き当 社グループへのご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申 し上げます。

# 人生を、しなやかに。リゾートトラストグループ。

事業間のシナジーを追求し、新たな顧客価値を創出。



# 業界のリーディングカンパニーに相応しい社会的責任を果たす。

- ①コンプライアンス、危機管理、内部管理体制の徹底
- ②情報開示:IR活動、広報活動の充実
- ③環境経営

環境マネジメントシステム(ISO 14001)の継続的運用 グリーンキャンペーンなどへの取り組み

4社会貢献活動

業界の発展に貢献

チャリティコンサート、ハンディキャッパー向けイベントの実施 地域活動への貢献

⑤ホスピタリティ事業の開発 ホスピタリティ文化の創造を通して

同業他社

顧客 リゾートトラスト 🥏 従業員 グループ

取引先

グリーンキャンペーン

1995年より、毎年リゾートトラストレディス開催地 の緑化の為に実施。入場券販売等収益金の一部 やギャラリープラザでの苗木即売会の収益金の 部をチャリティとして、福祉施設等に樹木を寄贈



# 「ISO14001 の認証取得

■2008年度 追加認証事業所(5施設) エクシブ京都 八瀬離宮/リゾーピア別府/リゾーピア

久美浜/サンメンバーズ京都嵯峨/サンメンバーズ神戸



地球環境への貢献と社員各位のPDCAサイクルに対する能力強化を目的とし て、部門横断的プロジェクト「ISO14001(環境マネジメントシステム規格)」の 認証取得・維持・継続的活動に取り組んでいます。

※2005年度から取り組み、現在24事業所(本社及び全リゾートホテル)が 認証取得致しております。

# 会員権事業

. 289 百万円(前期比 25.2%↓)

営業利益 45 百万円(前期比 98.5%↓)

会員権事業におきましては、景況不安に伴う個人消費の低迷などの影響を受け、リゾート ホテル会員権の販売が不調であった結果、売上高11.289百万円(前期比25.2%減)、 営業利益45百万円(同98.5%減)となりました。

# 箱根随一のリゾートに「エクシブ箱根離宮」2010年春誕生



都心から近いリゾートとして人気の箱根に、2010年春、離宮シ リーズ第二弾となる「エクシブ箱根離宮」が誕生致します。箱根は 温泉のほかにも、史跡、博物館、美術館、植物園などの観光施設 や、箱根駅伝などのイベントも多く、一年を通じて楽しめる観光地 でもあります。また、登山鉄道やケーブルカー、ロープウエイ、游 **覧船などを乗り継げば、大湧谷の荒涼たる風景、芦ノ湖越しの富士** 山、湖岸の景色など、行く先々で四季折々の絶景に出会えます。現 在、同施設の会員権を好評発売中です。

「エクシブ箱根離宮」の概要

敷地面積 20.174.16㎡

総客室数 187室

所在地 神奈川県足柄下郡箱根町

· 交通 (車) 「小田原西I.C. | から約9Km

から徒歩約7分

(電車)箱根登山鉄道「宮ノ下」駅

宮ノ下字大東112-2 他



エクシブ箱根離宮 露天風呂

伝統とモダンが融合する「エクシブ有馬離宮 | 2011年春誕生

現在、会員権を販売 中の「エクシブ有馬離 宮」は、雄大な六甲山 に抱かれた日本最古の 温泉地有馬に、2011 年春、離宮シリーズ第 三弾として誕生致しま

される有馬は、風情あ



エクシブ有馬離宮 露天風呂

る町並みに湯の香ただよう温泉街です。名湯で癒された後は、四季 折々の自然を訪ねるのも楽しみのひとつ。兵庫県でも有数の紅葉の 名所、瑞宝寺公園、鼓ヶ滝公園のほか、有馬温泉と六甲山頂を結ぶ ロープウエイでは、豊かな自然をゆったりと見渡す空中散歩を満喫 することができます。



「エクシブ有馬離宮」の概要

神戸市北区有馬町字 ウツギ谷1662-12 他

敷地面積 20,266.53m<sup>2</sup>

総客室数 175室

· 交通 (車)中国自動車道「西宮北 I.C.」から約6Km

(電車)神戸電鉄有馬線「有馬 温泉」駅から徒歩約7分

会員権に関するお問い合わせはこちら 0120-26-0014

# ホテルレストラン等事業



売上高 26.128 百万円(前期比

026 百万円(前期比 40.6%↓) 営業利益

ホテルレストラン等事業におきましては、2008年3月の「東京ベイコート倶楽部」、同4月 比6.1%増)、営業利益1.026百万円(同40.6%減)となりました。

# Jゾートクリスマスプラン実施中。料金の一部をNGO団体へ寄付





# 11月20日(木)~12月25日(木)

●対象ホテル エクシブホテル※

※軽井沢SV、京都八瀬離宮、鳴門SV・SVIIを除く (SV=サンクチュアリ・ヴィラ)

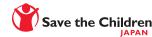


※ご宿泊には会員権が必要です。

クリスマススペシャルルーム

当社創立35周年を迎えた今年も、エクシブホテルにおいて、 とっておきのクリスマスプランをご用意しております。11月20 日から12月25日までの期間、リゾートクリスマスプランとし

て、シェフ自慢の料理と特 別なプレゼントほか、クリ スマスエッセンスをたっぷ



り添えたおもてなしを致します。日常を離れ、特別な場所で大 切な人と祝うリゾートクリスマスをお楽しみいただけます。な お、このリゾートクリスマスプラン料金の一部は、世界120ヶ 国以上で子どもたちのためのさまざまな活動を展開するNGO団 体「セーブ・ザ・チルドレン」に寄付させていただきます。

# 「エクシブ伊豆」 開業20周年記念 シンクロナイズドスイミング公演

「エクシブ鳥羽」に次ぐ第二のエクシブとして1988年3月に開業した「エクシブ伊豆」が 今年開業20周年を迎えました。20周年記念イベントとして、2008年4月から2009年3 月までの期間、プロシンクロナイズドスイマー・藤井来夏さん率いるエンターテイメント チームを迎え、室内プールにてアーティスティックシンクロパフォーマンスを開催。オリ ンピックメダリストによる本物のシンクロパフォーマンスを身近でご覧いただけます。





# IR NEWS IR=1-X

名門の名に値する高いグレードを誇るゴルフコースの開発及び運営を手がけています。



3.784 百万円(前期比 24.5%↑)

党業利益

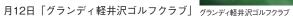
ゴルフ事業におきましては、「ザ・カントリークラブ(滋賀県)」や「グランディ軽井沢ゴル フクラブ (長野県) のリニューアルオープンや会員権販売の増加などが売上高に寄与し、 83 百万円(前期比 37.5% ↑) 売上高3,784百万円(前期比24.5%増)営業利益83百万円(同37.5%増)となりました。

### ゴルフ場内レストラン運営受託開始

当中間期に新たに4ヶ所のゴルフ場レストラン運営受託を 開始したことに加え、10月1日より「緑ヶ丘カンツリークラブ (名古屋市守山区) 内のレストラン運営受託を開始致しまし た。これにより、当社のゴルフ場レストランの運営受託は14 ヶ所となりました。本年4月からの新中期5ヶ年グループ経 営計画「エクセレント・ホスピタリティ計画」での、レストラ ン運営受託数20ヶ所を目指し、順調に推移しております。

# 「グランディ軽井沢ゴルフクラブ |

2007年9月に当社が取得した「軽井沢 森泉ゴルフクラブ」を改修し、2008年4



としてリニューアルオープン致しました。現在、同施設の会員権を販売中です。 今後は、壮大な景観美の中にゴルフの深奥を秘めた複合型総合リゾート施設 「グランドエクシブ軽井沢ゴルフ&スパリゾート」として、リゾートシーンにさ らなる夢と感動をお届けしてまいります。

# メディカル・その他事業

高品質な健康関連サービスを提供する総合メディカル事業です。



メディカル 売上高 3.503百万円(前期比 26.2% 1) 428 百万円(前期比 | 3.8% ↑) |4| 百万円(前期比 28.7%↑) | | ○ 百万円(前期比 | 8.4% ↓)

メディカル事業におきましては、会員権販売が好調であったことや会員増加に伴う年会費 26.2%増)、営業利益428百万円(同13.8%増)となりました。その他事業におきましては、 別荘管理業務の受託収入などにより売上高は増加しましたが、間接コストの増加などにより 減益となり売上高141百万円(同28.7%増)、営業利益110百万円(同18.4%減)となりました。

# 「東京放射線クリニック」開設

当社関係会社の(株)CICSがコンサルティングを行っている医療法人社団 勁草会\*が2008年4月、東京湾岸の有明に「東京放射線クリニック」を開 設致しました。放射線治療は、体に負担の少ないガン治療として注目され ていますが、日本では高度放射線治療を受けられる施設が非常に少ないの が現状です。当クリニックでは最新鋭の設備を導入し、自由診療による高 精度治療と保険診療による通常の放射線治療を外来で行っております。



# 「東京放射線クリニック」の概要

診療科目 放射線治療科 所在地 東京都江東区有明

二丁目5-7 TEL: 03(3529)5420

FAX: 03(3529)5422 診療時間 9:00~12:00

13:00~17:00

土・日・祝日、年末・年始 http://www.troc.jp

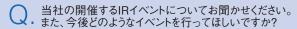
※ 医療法人社団勁草会理事長の山下孝医師はグランドハイメディック倶楽部の医療相談室にて会員様のご相談を受けております。

# NEWS 1 株主さまアンケートご報告

当社では、株主の皆さまの声を今後のIR活動の参考に させていただくため、株主通信vol.19とともに、株主アン ケートはがきを送付させていただきました。

1.365名という多数の株主の皆さまよりご回答をいただ き、厚くお礼申しあげます。

ここに、お寄せいただいたご回答の集計結果の一部を ご報告いたします。株主の皆さまからの貴重なご意見を、 今後の株主さまへのサービスの参考にさせていただき、 さらなる企業価値の向上に取り組んでまいります。







# NEWS 2. 個人投資家向け会社説明会に参加

個人投資家向け説明会(宝印刷株式会社主催)、名証サマーセミナー(名古屋証券取引所主催)

投資家の方々に当社の事業内容、経営方針等をご理解 いただくため、個人投資家向け会社説明会に参加いたし ました。

2008年8月26、27日に東京・名古屋で開催され、両日 とも多くの熱心な投資家の方々に来場いただき、当社社

長によるプレゼンテ ションを熱心に聞いて いただきました。

会場の様子

今後も、IR活動を通じて、投資家の皆さまへの情報発 信に努めてまいります。

# 自己株式の市場買付及び取得終了に関するお知らせ

当社は、自己株式の取得について、右記のとおり市場買 付を実施いたしましたので、お知らせいたします。

なお、右記の取得を持ちまして、2008年5月15日開催 の取締役会決議に基づく自己株式の取得を終了いたしまし たので、併せてお知らせいたします。

1.買付期間

2.取得株式数

3.買付総額

4.買付方法

記 2008年5月16日~2008年9月12日 5.700.000株 7.562.688.100円

東京証券取引所における市場買付

## 四半期連結貸借対照表

単位:百万円

| 連結会計期間末 2008年9月30日現在 2008年3月31日現 2008年3月31日 2008年31日 200 | 甲位:白     |         |  |  |
|--|----------|---------|--|--|
| 流動資産 121,042 117,432 117,432 116,840 122,551 有形固定資産 92,752 94,152  |          | 連結会計期間末 | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>2008年3月31日現在 |  |
| 固定資産 116,840 122,551 有形固定資産 92,752 94,152 無形固定資産 2,962 2,988 投資その他の資産 21,125 25,408 資産合計 237,882 239,983 負債の部 流動負債 73,708 63,067 固定負債 115,733 118,975 負債合計 189,442 182,043 純資産の部 株主資本 47,849 57,211 資本金 14,258 14,216 資本剰余金 13,990 13,948 利益剰余金 32,372 34,252  | 資産の部     |         |  |  |
| 有形固定資産   92,752   94,152     無形固定資産   2,962   2,989     投資その他の資産   21,125   25,408     資産合計   237,882   239,983     負債の部   73,708   63,067     固定負債   115,733   118,975     負債合計   189,442   182,043     純資産の部   株主資本   47,849   57,211     資本金   14,258   14,216     資本剩余金   13,990   13,948     利益剰余金   32,372   34,252  | 流動資産     | 121,042 | 117,432                                  |  |
| 無形固定資産 2,962 2,988 2 25,408 2 25,408 資産合計 237,882 239,983 負債の部   | 固定資産     | 116,840 | 122,551                                  |  |
| 投資その他の資産 21,125 25,408<br>資産合計 237,882 239,983<br>負債の部<br>流動負債 73,708 63,067<br>固定負債 115,733 118,975<br>負債合計 189,442 182,043<br>純資産の部<br>株主資本 47,849 57,211<br>資本金 14,258 14,216<br>資本剰余金 13,990 13,948<br>利益剰余金 32,372 34,252   | 有形固定資産   | 92,752  | 94,152                                   |  |
| 資産合計237,882239,983負債の部73,70863,067固定負債115,733118,975負債合計189,442182,043純資産の部株主資本47,84957,211資本金14,25814,216資本剰余金13,99013,948利益剰余金32,37234,252   | 無形固定資産   | 2,962   | 2,989                                    |  |
| 負債の部73,70863,067固定負債115,733118,975負債合計189,442182,043純資産の部株主資本47,84957,211資本金14,25814,216資本剰余金13,99013,948利益剰余金32,37234,252   | 投資その他の資産 | 21,125  | 25,408                                   |  |
| 流動負債 73,708 63,067<br>固定負債 115,733 118,975<br>負債合計 189,442 182,043<br>純資産の部<br>株主資本 47,849 57,211<br>資本金 14,258 14,216<br>資本剰余金 13,990 13,948<br>利益剰余金 32,372 34,252   | 資産合計     | 237,882 | 239,983                                  |  |
| 固定負債115,733118,975負債合計189,442182,043純資産の部株主資本47,84957,211資本金14,25814,216資本剰余金13,99013,948利益剰余金32,37234,252   | 負債の部     |         |  |  |
| 負債合計189,442182,043純資産の部株主資本47,84957,211資本金14,25814,216資本剰余金13,99013,948利益剰余金32,37234,252   | 流動負債     | 73,708  | 63,067                                   |  |
| 純資産の部47,84957,211資本金14,25814,216資本剰余金13,99013,948利益剰余金32,37234,252   | 固定負債     | 115,733 | 118,975                                  |  |
| 株主資本 47,849 57,211   資本金 14,258 14,216   資本剰余金 13,990 13,948   利益剰余金 32,372 34,252   | 負債合計     | 189,442 | 182,043                                  |  |
| 資本金14,25814,216資本剰余金13,99013,948利益剰余金32,37234,252  | 純資産の部    |         |  |  |
| 資本剰余金13,99013,948利益剰余金32,37234,252   | 株主資本     | 47,849  | 57,211                                   |  |
| 利益剰余金 32,372 34,252  | 資本金      | 14,258  | 14,216                                   |  |
| , , , , ,  | 資本剰余金    | 13,990  | 13,948                                   |  |
| 自己株式 △12,771 △5,206  | 利益剰余金    | 32,372  | 34,252                                   |  |
|  | 自己株式     | △12,771 | △5,206                                   |  |
| 評価・換算差額等 75 192  | 評価・換算差額等 | 75      | 192                                      |  |
| 少数株主持分 514 536   | 少数株主持分   | 514     | 536                                      |  |
| 純資産合計 48,440 57,940  | 純資産合計    | 48,440  | 57,940                                   |  |
| 負債・純資産合計 <b>237,882</b> 239,983  | 負債・純資産合計 | 237,882 | 239,983                                  |  |

# 四半期連結決算の概要

# 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結 会計年度末に比べ、販売用不動産1.456百万円、 投資有価証券3.466百万円減少したことなどにより、 237.882百万円(前連結会計年度比0.9%減)となりま した。

# 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計 年度末に比べ、未竣工物件などの前受金7.574百万円 の増加などにより、189,442百万円(前連結会計年度 比4.1%増)となりました。

# 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会 計年度に比べ、資本効率化のための自己株式取得に より7.564百万円の減少や剰余金の配当などにより、 48,440百万円(前連結会計年度比16.4%減)となりま した。その結果、自己資本比率は20.1%となりました。

## 四半期連結損益計算書

単位:百万円

|                       | 小类Amy如本社用引知明                 | /ごかま) ** 上田切                 |
|-----------------------|------------------------------|------------------------------|
|                       | 当第2四半期連結累計期間                 | (ご参考)前中間期                    |
|                       | 2008年4月 1日から<br>2008年9月30日まで | 2007年4月 1日から<br>2007年9月30日まで |
|                       | 44,847                       | 45,626                       |
| 売上原価                  | 8,485                        | 9,379                        |
| 売上総利益                 | 36,362                       | 36,246                       |
| 販売費及び一般管理費            | 34,666                       | 30,967                       |
| 営業利益                  | 1,695                        | 5,279                        |
| 営業外収益合計               | 383                          | 370                          |
| 営業外費用合計               | 291                          | 302                          |
| 経常利益                  | 1,786                        | 5,346                        |
| 特別利益合計                | 69                           | 651                          |
| 特別損失合計                | 690                          | 1,309                        |
| 税金等調整前四半期(中間)純利益      | 1,165                        | 4,689                        |
| 法人税、住民税及び事業税          | 924                          | 1,712                        |
| 法人税等調整額               | 899                          | 100                          |
| 法人税等合計                | 1,824                        | 1,812                        |
| 少数株主利益又は損失(△)         | △19                          | 43                           |
| 四半期 (中間) 純利益又は純損失 (△) | △638                         | 2,832                        |

# 損益

四半期連結決算の概要

当第2四半期連結累計期間の当社グループの状況は、 リゾートホテルなどの会員権販売が不調であったこと、消 費財の高騰により販売費及び一般管理費が増加したこと などにより、売上高は44.847百万円(前年同期比1.7 %減)、**営業利益**は1.695百万円(前年同期比67.9% 減)、経常利益は1.786百万円(前年同期比66.6% 減)、四半期純損失は638百万円(前年同期比3.470 百万円の減少)と、減収減益となりました。

# 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

|                        | 当第2四半期連結累計期間<br>2008年4月 1日から<br>2008年9月30日まで | (ご参考) <b>前中間期</b><br>2007年4月 1日から<br>2007年9月30日まで |
|------------------------|--|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー       | 5,623  | 2,790   |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー       | 480  | △6,742  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー       | △2,827                                       | 12,560  |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額       | 1  | 3   |
| 現金及び現金同等物の増加額          | 3,277  | 8,611   |
| 現金及び現金同等物の期首残高         | 22,065                                       | 29,950  |
| 連結範囲変更による増加額           | _  | 181   |
| 現金及び現金同等物の四半期末(中間期末)残高 | 25,343                                       | 38,743  |

# 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における、営業活動による現金及び 現金同等物(以下、「資金 | という。)は5.623百万円の増加と なりました。これは主に、前受金7.574百万円などによるものです。

# 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における、投資活動による資金は 480百万円の増加となりました。これは主に、有価証券や投資 有価証券の売買による4,727百万円などによるものです。

# 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における、財務活動による資金は、 2.827百万円の減少となりました。これは借入・社債償還などによる 5.712百万円の増加、自己株式取得に伴う7.582百万円の減少、 配当金の支払いによる1,239百万円の減少などによるものです。

12 ш

## 会社概要

| 会社名   | リゾートトラスト株式会社(Resorttrust, Inc.)  |
|-------|--|
| 創業    | 1973年4月  |
| 名古屋本社 | 〒460-8490 名古屋市中区東桜二丁目18番31号<br>TEL(052)933-6000(大代)                    |
| 資本金   | 142億5,811万円  |
| 事業内容  | 会員権事業、ホテルレストラン等事業、メディカル事業、ゴルフ事業、その他事業                                  |
| 従業員数  | 4,590名(連結)   |
| 東京本社  | 〒151-0053 東京都渋谷区代々木四丁目36番19号<br>リゾートトラスト東京ビル<br>TEL(03)6731-0001(代)    |
| 大阪支社  | 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満四丁目15番18号<br>プラザ梅新<br>TEL(06)6315-8686(代)         |
| 横浜支社  | 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-1<br>LIVMO ライジングビル2F<br>TEL (045) 477-5251 |
|       |  |

# 連結子会社一覧

(株)ジェス

(株)サンホテルエージェント

アール・シー・アイ・ジャパン(株)

(株)コンプレックス・ビズ・インターナショナル

HPアドレス http://www.resorttrust.co.ip/

第一アドシステム(株)

リゾートトラストゴルフ事業(株)

(株)ハイメディック

(株)東京ミッドタウンメディスン

アール・ティー開発(株)

ジャストファイナンス(株)

ベストクレジット(株)

アール・エフ・エス(株)

# 役員

| 代表取締役会長 | 伊藤 | 與朗 CEO | (最高経営責任者 | -)             |    |  |
|---------|----|--------|----------|----------------|----|--|
| 代表取締役社長 | 伊藤 | 勝康 COO | (最高執行責任者 | <del>'</del> ) |    |  |
| 專務取締役   | 岩田 | 政浩     | 取締役      | 髙木             | 直  |  |
| 専務取締役   | 高浪 | 宣昭     | 取締役      | 伏見             | 有貴 |  |
| 常務取締役   | 江幡 | 幸久     |          |                |    |  |
| 常務取締役   | 河﨑 | 信彦     | 監査役      | 川瀬             | 隆生 |  |
| 常務取締役   | 林戸 | 里巳     | 監査役      | 谷口             | 嘉孝 |  |
| 常務取締役   | 内山 | 敏彦     | 監査役      | 相羽             | 洋一 |  |
| 常務取締役   | 新谷 | 敦之     |          |                |    |  |
| 常務取締役   | 伊藤 | 正昭     |          |                |    |  |

# 株式の状況

| ■発行可能株式総数 | 150,000,000株 |
|-----------|--------------|
| ■発行済株式の総数 | 51,705,748株  |
| ■株主数      | 16,236名      |
| 1 14 >    |              |

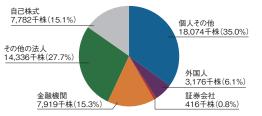
■大株主

| 株主名                        | 所有株式数<br>(千株) | 持株比率 |
|----------------------------|---------------|------|
| (株)宝塚コーポレーション              | 6,709         | 13.0 |
| (株)ジーアイ                    | 2,023         | 3.9  |
| (有)ケー・アイ・コーポレーション          | 1,728         | 3.3  |
| 伊藤與朗                       | 1,651         | 3.2  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)[信託口]   | 1,512         | 2.9  |
| 日本マスタートラスト信託銀行(株)[信託口]     | 1,081         | 2.1  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)[信託口4G] | 1,073         | 2.1  |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行(株)[信託口4]  | 969           | 1.9  |
| 住友生命保険相互会社                 | 777           | 1.5  |
| リゾートトラスト社員持株会              | 712           | 1.4  |

\*上記の他、当社が保有している自己株式が7.782千株あります。

# 株式分布状況

# 所有者別の株式数



# ホテル・ゴルフ場一覧

#### ●ベイコート倶楽部

東京ベイコート倶楽部

### ●グランドエクシブ

グランドエクシブ那須白河 グランドエクシブ軽井沢 グランドエクシブ初島クラブ グランドエクシブ浜名湖 グランドエクシブ鳴門

## ●エクシブサンクチュアリ・ヴィラ

エクシブ軽井沢サンクチュアリ・ヴィラ エクシブ鳴門サンクチュアリ・ヴィラ エクシブ鳴門サンクチュアリ・ヴィラ・ドゥーエ

#### ●エクシブ

エクシブ京都 八瀬離宮

エクシブ白浜アネックス

エクシブ白浜

エクシブ淡路島

●トラスティ エクシブ山中湖 ホテルトラスティ東京ベイサイド エクシブ蓼科 ホテルトラスティ名古屋栄 エクシブ伊豆 ホテルトラスティ名古屋 ホテルトラスティ心斎橋 エクシブ鳥羽 エクシブ鳥羽アネックス エクシブ琵琶湖

# ●リゾーピア リゾーピア箱根

リゾーピア熱海 リゾーピア久美浜 リゾーピア別府

#### ●サンメンバーズホテル

サンメンバーズひるがの サンメンバーズ京都嵯峨 サンメンバーズ神戸 サンメンバーズ東京新宿 サンメンバーズ東京新橋 サンメンバーズ名古屋白川 サンメンバーズ名古屋錦 サンメンバーズ大阪梅田 サンメンバーズ鹿児島

#### ●ゴルフ場

グランディ 那須白河ゴルフクラブ メイプルポイント ゴルフクラブ グランディ 軽井沢ゴルフクラブ グランディ 浜名湖ゴルフクラブ スプリングフィールド ゴルフクラブ パインズ ゴルフクラブ

セントクリーク ゴルフクラブ ザ・トラディション ゴルフクラブ グレイスヒルズ カントリー倶楽部 ザ・カントリークラブ オークモント ゴルフクラブ グランディ 鳴門ゴルフクラブ36

## 株主メモ

■事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

■定時株主総会 毎年6月開催

定時株主総会 ■基準日 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当全 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

■株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

■同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) T183-8701

> 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) 00 0120-175-417 (その他のご照会) 00 0120-176-417

(インターネットホームページURL)

http://www.sumitomotrust.co.ip/STA/retail/service/daiko/index.html

■同取次所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

#### 【株券電子化後の株式に関するお届出先およびご照会先について】

平成21年1月5日に株券電子化が実施されます。その後のご住所変更等の お届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されてい ない株主様には、株主名簿管理人である左記の住友信託銀行株式会社に 口座(特別口座といいます。)を開設いたします。特別口座についてのご照会 および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先にお願いいたします。

#### 【株券電子化前後の単元未満株式の買取請求のお取扱いについて】

特別口座の株主様につきましては、株券電子化の施行日(平成21年1月5 日)から平成21年1月25日まで、単元未満株式の買取の受付を停止いたしま す。また、平成20年12月25日から30日までに請求をいただいた場合は、代金 のお支払は平成21年1月26日以降となります。

※単元未満株式について「ほふり」を利用されている株主様につきましては、上記取扱いと異なり ますので、お取引の証券会社へお問い合わせください。

■公告方法 当社のホームページに掲載する。

http://www.resorttrust.co.ip/

※ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた時には、日本経済 新聞に掲載します。

■上場証券取引所 東京·名古屋(第一部)

13 14